

## 令和6年度 事業報告

令和6年4月 1日から

令和7年3月31日まで

### I 概要

令和6年度は、当センターが平成元年4月に設立されて以来、36年を迎える年であります。

これまでの間、高齢者の健康増進や生きがいづくりの推進、更には地域活性化の一助を目的に、シルバー人材センター事業を展開してまいりました。

特に、令和6年度は、中期基本計画の初年度であり、当センターが事業を計画的に推進するうえで、その基本理念を『自主』『自立』『共働』『共助』と定め、また事業の具体的推進の柱（基本目標）を会員の増強、就業機会の拡大、安全・適正就業の徹底、運営基盤の強化及び組織の充実とし、各種事業に取り組んでまいりました。

また、一方で、シルバー人材センターを取り巻く環境に変化が生じた年でもありました。令和6年11月に特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律（通称：フリーランス新法）が施行され、当センターにおいても、令和7年度に向けて、現行の請負契約の見直しやそれに伴う発注者への説明・ご理解を頂く準備を行いました。

このような状況の中、当センターでは、中期基本計画及び令和6年度事業計画に定められた6つの基本方針に基づき事業を展開して参りました。なお、各基本方針の事業実績につきましては、「II 詳細」として後述のとおりであります。

総合的な事業実績としては、会員数295名（男206名、女89名：令和6年度末現在）で前年度比4.8%の減となりました。

請負業務においては受注件数1,856件で前年度比9.4%減、受注総額181,264,494円で前年度比0.8%の減、就業実人数243名（前年度比7.3%の減）でありました。

また労働者派遣事業につきましては受注件数25件で前年度比16.6%の減、受注総額15,548,776円で前年度比2.2%の増、就業実人数29名（前年度比16%増）でありました。

会員の就業率は82.4%、年間の一人当たり平均就業時間は470時間でありました。

事業全体としては、受注総額196,813,270円で、前年度比99.4%で若干前年度を下回る結果となりました。

その主な要因は、会員の減少に伴い、請負契約における特定の業種について、受注許容量の減少によるものです。

以上、令和6年度の事業の概略を申し上げ、改めて会員、関係機関及び市民の方々のご支援、ご協力に感謝申し上げます。

## II 詳細

### (1) 会員の増強及び広報活動の促進

多くの会員の入会を促進するため市広報への記事掲載、広報会員拡大委員会を中心に「新規会員募集」チラシの作成、更に女性活躍委員会を中心に「ひまわりクラブ」主催の交流事業を開催し、会員の増強に努めました。

また、入会説明会の随時開催、会員による「口コミによる勧誘」を推奨し、新規入会者の促進を図りました。

その結果、20名の新規登録者がありました。また退会者数は35名であり、合計で15名の減少となりました。

### (2) ボランティア・イベント活動の推進

例年実施しているボランティア活動として、令和6年度も5月に市役所前庭の松の剪定を植木職19名の協力をいただき、また10月に「街なか清掃」を50名の参加をいただきそれぞれ実施しました。「街なか清掃」では、参加者が羽生市役所を出発し、3コースに分かれてゴミ拾い清掃及びセンターのPR活動を行いました。

また、「第10回シルバー人材センターまつり」を羽生市民プラザで開催し、実行委員会及び関係機関の多大なご協力のもと、約350名のご来場をいただき、当センターの周知に努めました。

### (3) 就業先の確保及び派遣事業の拡大

当センターの情報発信として、広報・会員拡大委員会が主体となり会員向けの「ひまわり通信」を年4回発行するとともに、一般向けにホームページの随時更新を行い、センターの最新の情報を発信することで「魅力あるシルバー人材センター」のPRに努めました。

また、受託事業の契約方法につきましては、請負契約を締結している業務において、「適正就業ガイドライン」に基づき契約内容を精査し、公益財団法人いきいき埼玉の指導の下、請負契約から派遣契約へ6業務の切替えを行いました。

### (4) 安全・適正就業の徹底

「事故ゼロ」を目標に、7月～10月の間に安全・適正就業巡回パトロール

を実施するほか、「安全・就業ニュース」を会員へ配布し、安全就業への意識向上を図りました。このことにより1年間で重大事故はなく、事故発生件数は10件であり、前年度の13件と比較して大幅に減少しました。

また「ひまわり通信」において、会員の健康管理の一環として羽生市が実施する各種健康診査及びがん検診の受診について記事を掲載し、受診を推奨しました。

#### (5) 研修会・講習会等の開催

会員の交通安全及び健康への注意喚起を図るため、「交通安全講習会」や「健康講座」を開催しました。

また、全国のシルバー人材センターでも草刈り業務において飛石による事故が多数発生していることから、その対策として「歩行型草刈機安全講習会」及び「草刈機安全講習会」を、更に（公財）いきいき埼玉主催による「草刈機飛び石事故防止研修」を実施し、参加者の安全就業に対する意識向上を図りました。

#### (6) 運営基盤の強化及び組織の充実

センター事業の更なる推進のために、各委員会（安全・適正就業推進委員会、広報・会員拡大委員会、女性活躍委員会）を定期的に開催し、また、役職員のスキルアップを図るため（公財）いきいき埼玉主催の講習会や研修会に参加しました。

また、センター事務局職員の資質向上として、東部ブロック圏域での事務局長会議及び職員事務連絡研究会へ参加するとともに、近隣のシルバー人材センターと情報交換を行いました。

加えて現在、センター事務所老朽化に伴う新事務所建設に向け建設資金の積立を行いました。